

第21回国立公園大山高原マラソン

去る9月23日(日)、第21回国立公園大山高原マラソンに、『中央会・走ることをこよなく愛する会』(当日結成)の3名が出場しました。

当日はとてよい天気、絶好のマラソン日和となりました。大田修一、宮崎大介の両会員はかなりコンディションが良さそうスタートは10時だというのに、7時半からアップを始めていました。私は8時に起きたせいもあって、アップどころか受付を済ませただけであっぴあっぴの有様でした。

そして10時。私たちの出場する一部10km、160人が一斉に走り出しました。最初の100mは8位くらいにつけていましたが続々と抜かれ、5km地点では50位にまで落ちていました。宮崎会員はトライアスロン経験を活かして20位でゴール。大田会員は60位でした。私は、途中まで大田会員と100mくらいの差でしたが、結局80位でゴールしました。

全般的にアップダウンがとてつらかったのですが、景色がとて綺麗なせいもあり、完走したときには疲れも忘れていました。今回はふたりに負けてしまいましたが、次はフルマラソンでリベンジを果たしたいと闘志を燃やしています。

最後になりましたが、バーベキューでもてなしてくださった応援団の方々、ありがとうございました。走ることを通じて、友情と愛情、そして同情(!)と色々なことを学ばせていただきました。これからも道がある限り、走り続けようとおもいます。
(Newカマーズ: 押藤博幸)

言わしてごしない Part 4

先月に続き、またもやテロ関連の話をさせてもらいます。9月11日の米国のテロ発生から1ヶ月半経った現在も様々な意味で社会の動揺が続いています。10月17日の日経金融新聞9面では米国の証券オプション市場での取引を主とする投資会社、マーキュリー・トレーディング社とナジャリオン社長へのインタビューでテロ事件発生前後のテロリストの証券市場関与の可能性について紹介していました。

ナジャリオン社長曰く「99%、テロリストによる取引があったと考えられる。9月6日のUAL株のプット・オプション(航空会社ユナイテッド・エア・ライン株が下落すれば儲かるオプション)の取引高は通常の日50~100枚というレベルではなく3,150枚。また貿易センタービルにオフィスがあった米国投資銀行モルガン・スレンター株の取引高も一日平均取引量の80倍近くにまで膨らんでおり、オプション市場だけで1,500万ドルから3,000万ドル、債券や株価指数先物を利用したとすれば1億ドルほど利益を上げることは可能と指摘しています。オプションを仕込んでおいて現物や先物を仕掛けて利益を得るという手段は古今東西常套手段ですが、これほど大がかりなものは聞いた事が無いということです。

以前からメールマガジンやヤフー掲示板などで良く噂に上がったのは財務担当官や中央銀行の高官が予定にない公式声明をする直前に為替市場が反応するというものでした。さきほどのテロと声明を一緒にするつもりはありませんが、この手のアクションは単純にリターンを得る手段としては資金効率から考えても最も確実な方法です。ドル・円の為替取引で一回50銭抜いたとしても年間10回となれば5円。つまり年利にして約5%の運用が可能となります。大きなお金をローリスクで5%稼ぐというのは大変なことです。

冒頭のテロの話に戻りますが、10月に入り炭疽菌感染事件の影響でナスダック市場のバイオ関連株が急騰しています。本来であれば米国の本当のアキレス腱はニューヨーク証券取引所であるはずですが、ターゲットとならなかった理由が明らかに存在したようです。財テクテロリストによる自爆インサイダー取引なんて、本当に洒落になりませんね!!
(情報メディア: 長谷川一成)

天声増語

仕事に追われ疲れて帰ったとき、「お父さんお帰り!」とひとこと子供が言う。あっという間に疲れが取れた気分になる。そんな日々がなつかしい。

換気扇の下でタバコを吸っても、自分の部屋がなくても、小遣いが少なくても、朝日町から午前様で帰ってしまわれても、家族と一緒にいる方が幸せだ。

単身赴任とは、自分の好きに出来て自由である。いわゆる独身と変わらないと思ったのは、浅はかであったのだ。

マンションに帰るのはいつも深夜... 1人暮らしは、経験済みのはずなのに結婚生活のありがたさをここまで考えさせられるとは...

とは言っても慣れればこっちのもの、いつか必ず...? 本当に家族のありがたさが身にしみず。

※筆者は只今鳥取に単身赴任中です。

コピーをして名簿にお貼り下さい

(Newカマーズ)

井塚 聡 O型 代表
井塚デザイン事務所
印刷物の企画・デザイン・印刷・webデザイン
〒683-0805 米子市西福原8-415 ラ・メゾンスカイ106
TEL 38-0786 FAX 38-0788
(KT)
〈自宅〉米子市西福原8-415 ラ・メゾンスカイ106
〒683-0805 S.40.4.27 TEL.38-0786

このたび本会に入会しました井塚聡です。私は26歳の時大阪で独立して以来、広告のデザイン・印刷の仕事を中心にWeb関連・工業デザイン・店舗経営等を勉強してきました。事業も年々拡大しており、昨年から住居を米子市に移転したのをきっかけに、今後の仕事の進め方を先輩諸君に諸先輩の指導を仰ごうと入会を希望しました。見た目は恐ろしく中身は初心者です。気軽に声を掛けて下さるようお願いいたします。

(Newカマーズ)

小川 昌史 B型 支店長代理
中国銀行米子支店 銀行業
〒683-0802 米子市東福原1-1-1
TEL 35-9511 FAX 35-9521
(KT)
〈自宅〉米子市錦海町2-5-1 米子社宅303
〒683-0825 S.40.6.22 TEL.22-6960

この度入会させて頂きました小川昌史です。諸先輩のご活躍は全日本トライアスロン学生大会の協力等地域社会への貢献に尽力されていることは以前よりお聞きしております。私は岡山市に本店を置く中国銀行に勤務しており今年2月より米子支店に赴任し当地に住み始め8ヶ月となります。本会へ入会させて頂いたことを機会に人格の向上を図るとともにさらに当地をよく知り第二の故郷と呼べる町にしたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

(Newカマーズ)

松原 毅 A型 代表
シルフィールド 写真全般(竣工・パンフ・人物・撮影)
〒692-0011 安米市安米町1899
TEL 0854-23-1899 FAX 0854-23-1899
(KT)
〈自宅〉米子市車尾3丁目7番9号
〒683-0006 S.40.11.10 TEL.31-2778

この度入会することになりました松原毅です。私はこれまで安米の会に7~8年おき、おもに「企画力・実行力」による、地域・公・自己の向上に微力ながら取り組んで来ましたが、これほどとは異なる自分を向上させる事の出来るものを見つけ入会しました。今までの経験を活かし「企画力・実行力」を信念として活動したいと思っております。今後共々よろしくお願いたします。

11月役員会報告

11月定例役員会が平成13年11月1日(木)、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 11、12月例会開催の件
- (2) 県経営研修会参加の件
- (3) その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

11月例会案内

と き 平成13年11月16日(金) 19:00~
と ころ 米子コンベンションセンター(第7会議室)
講 師 西伯町長 坂本昭文氏
演 題 西伯町の挑戦 ~福祉事業におけるモラル~

Handsome

発行人: 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 岩田慎介 編集責任者 萬田寿夫 印刷所 東京印刷(株)

10月例会報告



10月15日(月) ホテルサンルート米子において広報委員会担当の10月例会が開催された。

岩田会長の挨拶、新入会員3名(井塚聡、小川昌史、松原毅各会員)のバッジ授与、岩崎康朗委員長(経営委員会)の委員長タイムの後、講演が行なわれた。

今月は(財)発明協会鳥取県支部内鳥取県知的所有権センター特許電子図書館情報検索指導アドバイザー 奥村隆一先生をお迎えし、「知的所有権の重要性とその理解並びに活用について」という演題でお話しを伺った。

先生はまず最近の特許関連の訴訟記事を引用され、知的所有権を知ることによって訴訟などの危険から会社を守ることの大切さを語られた。具体的事例としては、「商標登録についての認識が甘かった(日本テレコム)」、「特許を取り損ねた(後藤公平会員)」、「特許を取らずに膨大な利益を遺失した(カラオケ)」ケースなどを紹介され、知的所有権の問題は常に我々の身近に起こり得ることであると認識させられた。

また、知的所有権から会社を守るばかりでなく、積極的に攻めていくことの重要性について話がおよび、①特許相談会の有効利用、②特許講習会への参加、③特許マップの活用、④特許電子図書館ホームページへのアクセス、など理解を深めるための方法が示された。

知的所有権については、「関心があるが敷居が高い分野」と思われがちであるが、企業経営者や会社の幹部がこれを深く理解することは会社にとって重要であると痛感した。また今回の例会はオープン例会として行なわれ、会員に加え一般参加者35名、OB参加者も5名あり、知的所有権に対する関心の高さをうかがわせるものであった。

(広報: 植田寿雄)

温故知新

~第9期会長の足立統一郎OBに話をお聞きしました~



今回は先般、境港商工会議所会頭に就任された足立統一郎氏にお話を伺った。

—OBは当会の第9期会長を務められました。当時も今日と同様、不況感が漂う時代でしたが、そのような時代に経済団体のトップを受けられた事についてお話を伺えますか。

『今回は18年間副会頭を務めたという事もあるが、当時も快く就任要請を承諾したと思う。それは、いつでも組織全体の事を考え、活動をするようにしてきており、「世の中には、避けて通れない巡り合わせがある」と考えているからだ。』

—当会会長の大きな仕事として、次年度会長の指名がありますが、従来と違う人選をされましたが...

『青年中央会のメンバーは、経営者だけでなく、それぞれの中小企業を支える優秀な管理職の人も加わっている。また、企業のオーナーというのは、時として、世間に対して傲慢になり易い。そのような人間だけの集まりでは、その組織が偏ってしまうので、組織の活性化と会員の意識改革を考え、内海氏(現在の米子信用金庫理事長、当時は支店長職だった。)に次期会長をお願いした。その為、当時の理事長に直接お願いもした。』

—現役員会に一言お願いします。

『青年中央会を卒業する45歳までにしなければならないことをしっかりする事。新鮮な発想や勝負力は30代中頃がピークだが、若さの特権はある。しかし、もう子供ではないので、社会に対し甘えは許されない。』

自らを“頭で汗をかく”より“体で汗をかく”タイプとし、即断と行動力で当会の歴史の1ページを刻まれた、同氏の貴重なお言葉を胸に刻み、インタビューを終えた。

(広報: 水 康徳)



平成13年度OB交流会



去る10月6日(土)、境港市勝手ヶ浜にてOB交流会が開催され、多数のOB会員の方々と現役会員が参加し、一日を楽しく過ごした。

まず我々を魅了したのは、両手を回しても届かないような大鍋! その隣の蟹の山! そしてパーベキューの為に用意された海老、鯛、イカ、肉、ウインナーなど多くの豊富な食材! であった。午後6時過ぎ、岩田会長から開会宣言があり、続いて手島OBから「OB、現役と世代の隔世はあっても原点は変わらない。今宵は秋の夜長を満喫しつつ大いに語り、大いに飲もう!」との挨拶を頂いた。そして中居OBの乾杯の後、お待ちかねの食事へと移って行った。

目と鼻の先が海という場所柄かなり肌寒かったが、それを熱々のパーベキュー、あったか〜い蟹汁が充分にカバーしてくれた。楽しい一時を過ごしていたその時、7名の勇者達の掛け声と共に境港大漁太鼓のアトラクションが始まった! 息も尽かせぬパチさばきはわれわれを圧倒し、その太鼓の音色は境港の夜を華麗に彩った。その後、13名のOB会員の方々と一言ずつメッセージを頂いた。そして新入会員9名の挨拶の後、松田OBの締めめの挨拶で2時間に渡る境港の宴は終了した。OB会員の方々をお見送りした後、土井直前会長と共に皆が「やるぞ!!」のコールで締め括った。

私にとってOB交流会は3回目。これまでゴルフでの交流だったが、このような雰囲気交流会も充分楽しめた。出来ればもう少しOB会員の方々とお話ししておけば良かったと反省しているが、何はともあれこれからも色々な形で交流を続けて行きたいと強く感じた一日であった。

最後に今回の交流会の企画・準備、そして当日の運営にあたられた総務委員会、Newカマーズ委員会、境港の会員有志の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(広報: 渡辺一徳)

『コウハイの「突撃!隣の委員会」』

◎ヨネスケの「突撃!隣のばんごはん」とはまったく関係ありません。

読者諸兄はドジョウとゴボウが卵でとじてある柳川鍋という食べ物をご存知のことであろう。柳川鍋の醍醐味は、ドジョウの泥臭さをゴボウが中和し、ゴボウの地味さをドジョウが引き立てているという食材の絶妙な取り合わせにあると言っても過言ではない。互いの弱点を互いが補い、卵の力を借りて更なる調和が図られる…。

10月11日(水)に中華料理大連にて行われたNewカマーズ委員会におじゃましてきた。「新入会員入会前・入会後」のテーマのもと、参加会員全員が中央会と自分との関わりについて3分間スピーチを行う。積極的に参加することで自らの存在意義を見出した新入会員、まだ会になじめず手探りの状態であることを吐露する新入会員、実体験を交えた会に対する熱いおもしろい小細工なしの直球勝負でぶつける中堅・古参会員。あるいはドジョウが、あるいはゴボウが、卵が率直に意見を交換しあっていた。

とかく世の中、青臭い正義感を通じず、経験に裏打ちされた行動を求められることのほうが多い。予定調和は、わが中央会においても決して例外ではない。しかし、過去に従順であるだけでは進化がない。「温故知新」は過去のモノマネを奨励する言葉ではない。過去に学び、その長所・短所を究明し、いかに自分自身を

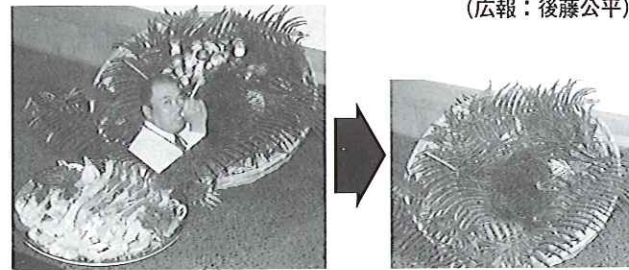
進化させていくかである。

そういった観点からも、新入会員という旬の素材と中堅・古参会員という調味料をともに活かしながら、ひとつの料理として完成させようとするNewカマーズ委員会の委員会運営には素直に脱帽するしかなかった。まさに「柳川鍋」委員会…。

がんばれ、Newカマーズ委員会! がんばれ、新入会員! 中央会という大海原に岩田丸に負けにくいらいの大きな帆を張り、いざ漕ぎ出そう!!

P.S.会場に到着するやいなや、秋の味覚の王様「純国産まつたけ」とタラバガニでもてなして下さったNewカマーズ委員会の方々、本当にありがとうございました。

(広報: 後藤公平)



青経連親睦ソフトボール大会



10月9日(月)18時より、市民球場横グラウンドにて開催予定だった青経連4団体による親睦ソフトボール大会は、秋雨前線の影響を受けやむなく中止となった。しかし、各団体とも内に秘める闘志は相当なものがあったようで「それなら飲みで勝負だ!」と言わんばかりに急遽時間を繰り上げ、19時より海王にて懇親会が行われた。

冒頭、米子商工会議所青年部の小林会長から「鳥取県西部に根ざす青年経済団体同士、協力しあえるところは積極的に協力していきましょう。」との挨拶があった。事実、皆生トリアスロンボランティアやがいな祭りでの連携は記憶に新しいところであり、今後、各団体の垣根を越えた大同団結型の交流を予感させる一幕であった。

21時、懇親会は盛会のうちに終了した。今回の雨が、文字通り「雨降って地固まる」の効果を発揮してくれることを期待してやまない。

(広報: 後藤公平)

10月度委員会報告

きずな委員会

平成13年10月5日(金) 於: 米子食品会館 出席者/10名
内容/①平新会員より、会社における女性の立場、現状を5分間スピーチしていただきました。

②意識改革・人材育成チームの講師として、三井生命米子営業所 梶田由美子指導所長をお迎えし、我々にとって身近な保険屋さんの実情を切々と語っていただきました。

- 1) 主婦層のライフスタイルがわかるので、どんな時間帯に訪問してよいか等、女性の立場になって営業が出来る。
- 2) 基本的に主婦ですので時間のやりくりをして自分の家庭に迷惑を掛けないように心がけている。が、どうしても残業をしなければならぬ時は家庭を犠牲にしてでも責任をもってやっている。
- 3) お客様が男性の場合、女性のちょっとした気配りをするように心がけている。
- 4) 理解のある上司と無い上司、又現在どんな保険が流行っているか、等々

情報メディア委員会

平成13年10月9日(火) 於: ホールサムインかいけ 出席者/11名
内容/講師講演

講師: 株式会社インサイト 植田社長 (広報委員会)
演題: 「アナログ代表者のあいていー難題」

1. 情報メディア・ITとは何者なのか?
能率を高めるためのツールである。そして、その企業にマッチした適正なレベルのものを選択することが重要なポイントである。(必ずしも高度化追求が得策ではない。)
2. インサイトの取り組み
自作HPの開設に始まり、幾多の試行錯誤を重ねた上、現在は「経営者個人のつぶやき」を基調としている。将来的には「人材に関する情報源」として発展させる。
3. 1の結論の結論
「効率化」こそがITの役割である。

モラル委員会

平成13年10月4日(木) 於: 居酒屋YANSHU 出席者/12名
内容/ 今回の委員会は、11月担当例会での役割分担を決定した。

経営委員会

平成13年10月12日(金) 於: 皆生温泉 岩崎館 出席者/9名
内容/ 第21期卒会の宮崎勝行OB(山陰建設サービス(株)代表取締役)をお招きしご講演いただいた。
演題「21世紀の会社経営の課題」

Newカマーズ委員会

平成13年10月11日(木) 於: 大連 出席者/22名
内容/ 12月の忘年例会のアトラクションを協議

政治行政委員会

平成13年10月10日(水) 於: ホールサムインかいけ 出席者/15名
内容/ 講義「市町村合併に伴うメリット・デメリット」

講師 西部県民局長 磯江俊二氏

- ①今、何故市町村合併なのか
A 財政の逼迫(比較的健全である鳥取県財政でも予定外の必要経費が発生した場合、財政硬直化が起き易い)
B 専門的人材の不足(例: 福祉面で専門人員(知識)や専用施設が、山間地区で不足、結局周辺地域との協力必要など)
C 少子高齢化等の社会変化(高齢人口くみの増加。学校では児童数減少でクラス複式学級化)
- ②統合後の地域社会における諸活動の変化
A 日常生活圏の拡大(隣地区設備も、区外民利用は割高など)
B 地域活力の発現(狭範囲での内部循環による活力分散型から、県外へ向ける等の外向発散型に改善)

広報委員会

平成13年10月3日(水) 於: ホテルサンルート米子 出席者/13名
内容/ ①ハンサム11月号担当割

②10月担当例会について打合せ・リハーサル

総務委員会

平成13年10月3日(水) 於: 米子食品会館 出席者/14名
内容/ 10月OB交流会最終打合せ

知らない損する「IP」わぁ〜ると目

今回は先月に引き続き、特定の案件を検索してみることにします。その案件とは…そう、四季を通じて日本人が愛してやまない国民食ラーメンです。ただし、ちょっと変わった「ラーメン」なのです。

「ひょっとして○○?それとも△△?」なんて頭の中で想像していないで一緒に特許電子図書館に入っていきますよ! 少しばかりの知的好奇心があればOKです。ちなみに、今回調べる「ラーメン」は事前に検索が済ませてあります。(出願番号: 「特許出願平05-043148」、公開番号「特許公開平06-217700」、公告番号: 「特許公告平06-101982」、審判番号: なし、特許番号「特許1990591」)

もし、ご自分の気になる案件を探したい場合には先月号ハンサムを再度ご覧下さい。それでは、検索を始めましょう。

- ①特許庁ホームページ (<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)へアクセス
- ②トップページ左下方の「特許電子図書館トップページ」をクリック
- ③「特許・実用検索へ」のサービスメニューをクリック
- ④「2 特許・実用新案文書検索照会」をクリック
- ⑤ヘルプ画面を参照して、「種別」欄に「公開」を選択もしくは入力、「文献番号」に「H06-217700」と入力(※もちろん、「種別」欄を「出願」、「公告」、「番号」に変えて、それぞれの「文献番号」を入れても結果は同じです。)
- ⑥「照会」をクリック
- ⑦「文献番号リスト表示」をクリック

宮城県某所のお菓子屋らしき業者さん(以下、A社)が発明した「味噌ラーメンアイスと、その製造方法」なるものが出てくるはず。皆さん、どうですか?一度食べてみたいという欲求にかられる食品じゃないですか?

著作権の関係上、この特許に関する文章をそのまま掲載するわけにはいきませんので、かいつまんで紹介すると次のようなものです。

A社は、従来の意匠的模倣(井やナルト、メンマの形を模した)ではなく、本物の味噌ラーメンの味と食感(!)をアイスクリームで表現しようとした。ただし、そこにはクリアしなければならないふたつの大きな課題がありました。ひとつは、通常に茹でた麺をアイスクリームにただけでは氷のような食感になってしまうということ。もうひとつは、アイスクリームベースに味噌を直接入れると麺に味がつかず、全体のバランスが悪くなり、ただ味噌を入れただけのアイスクリームになってしまうということ。そこで、A社は、そのふたつを解決するために…。

おっとっと、全部言っちゃったところでした。あとは読者の方々がご自身で確認してください。先月号ハンサムにもあったとおり、知的所有権の世界へ入っていただくきっかけは特許の閲覧で充分だともお思います。しかし、次のステップとして、その特許や実用新案・意匠・商標等がどのような経緯で権利取得までこぎつけたのかを冷静に分析する必要があるともお思います。その作業は、単なる「おもしろい」や「ひらめき」を知的所有権にまで昇華させる原動力になりうるとも言っても過言ではないからです。

【おまけ】

「7 公報テキスト検索」による「ラーメン」(キーワード入力は「ラーメン らーめん らあめん」)事前検索の結果、「ラーメン構造を持つ建物」、「ラーメンユニットによる建物の構築方法」なんて特許もヒットしました。食品以外の分野にもその名を冠するとは…

おそろべし、ラーメン!おそろべし、中国四千年!!

(広報: 後藤公平)